

PNAS誌、理系女子学生への偏見に関する調査結果を掲載（9月21日）

米国科学アカデミー（National Academy of Sciences）の定期刊行である「米国科学アカデミー紀要（Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America : PNAS）」に掲載された調査結果「理系教授は男子学生をより高く評価（Science Faculty's Subtle Gender Biases Favor Male Students）」によると、科学者は男女を問わず、女子学生に対して偏見を持っていることが明らかになった。

本調査では、生物学・化学・物理学教授 127 人に対し、性別以外は全く同じ内容の、主席研究員職に応募した架空学生の応募書類を評価させ、その結果から、①学生の能力、②雇用可能性、③給与額、④その学生が採用された場合の指導の程度、の4点に関する回答を分析した。

この結果、全く同じ内容の応募書類であるにもかかわらず、科学者は男女を問わず、男子学生として提出された書類に対して、女子学生の書類と比較し、当該学生の能力・採用の可能性・給与額をより高く評価し、また指導により多くの時間を費やすと回答しており、女子学生として提出された書類との間には顕著な差が見られた。

なお、本調査結果は、

<<http://www.pnas.org/content/early/2012/09/14/1211286109.full.pdf+html>>から閲覧可能。

Inside Higher ED, Study Offers New Evidence that Scientists are Biased Against Women  
<http://www.insidehighered.com/news/2012/09/21/study-offers-new-evidence-scientists-are-biased-against-women>